

子どもの健康づくり連携事業〈専門医の派遣〉実践例

小学校①

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「メディアと子どもの健康について」
- 2 対象 6年児童、保護者
- 3 専門医 池田 博行 医師
(池田小児科クリニック)
- 4 実施月 7月
- 5 内容(キーワード)
スマホが子どもにもたらす3つの弊害
子どもの脳と大人の脳は違う
上手に利用するルールづくり



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*6月に実施した実態調査や医療現場での事例をもとに講話をしていただき、専門的で実態に即した内容のお話をお聞きすることができた。

②保健教育における校内連携について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*中学校と連携しメディア・コントロールを実施する時期に合わせ、2・4・6年はメディアとの付き合い方について、親子で学ぶ機会を設定している。
*PTA 事業部は取り組みをまとめるなど、組織で計画的に行っている。
*講話を受けて、児童健康委員会ではメディア利用について提案を行った。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*個別のケースを専門医の先生に相談したところ、スムーズに医療につなぐことができ、その子の生活が改善され事例が好転した。

〔受講者の感想など〕

- 特に印象に残ったところは、勉強を2時間がんばってもゲームを3時間するとむだになることです。あとは、月曜日に具合が悪くなる人が多いことです。ぼくはタブレットを持っていて、つい使いすぎたりするので、池田先生から聞いたことを活かしてやりすぎをしないようにしたいです。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 国語(情報教育)、保健(病気の予防)、家庭(生活時間をマネジメント)、道徳(メディア・リテラシー他)
- 「インターネット安全教室」2年・3年・4年・5年・6年で実施(1年は入学説明会時に実施)
- メディア・コントロール生活リズムの取組(全校生)※中学校と連携